

A tour of developing world

～人口高齢化の実態～
発展途上国編

神戸市外国語大学 中国学科

中嶋ゼミ

津浦 瑞規

2012年5月22日

まず最初に・・・

すみません！

先週から風邪をひいてしまい、声の調子がとても悪いので聞きにくいと思いますがご了承ください！

津浦



では前回のおさらいから・・・

先週は**人口高齢化の実態～先進国編～**ということで

アメリカ

カナダ、オーストラリアなどの英語圏

北ヨーロッパ

日本

といった国々の人口高齢化の実態についてみていきました

では今週は・・・

東南アジア

中国

サハラ以南アフリカ

ロシア

東ヨーロッパ・・・

要するに・・・



この辺を
みていきまーす

**私、津浦は国が多かったので
中国(東アジア)
インド(南アジア)
についてみていきます！**

中国・東アジア

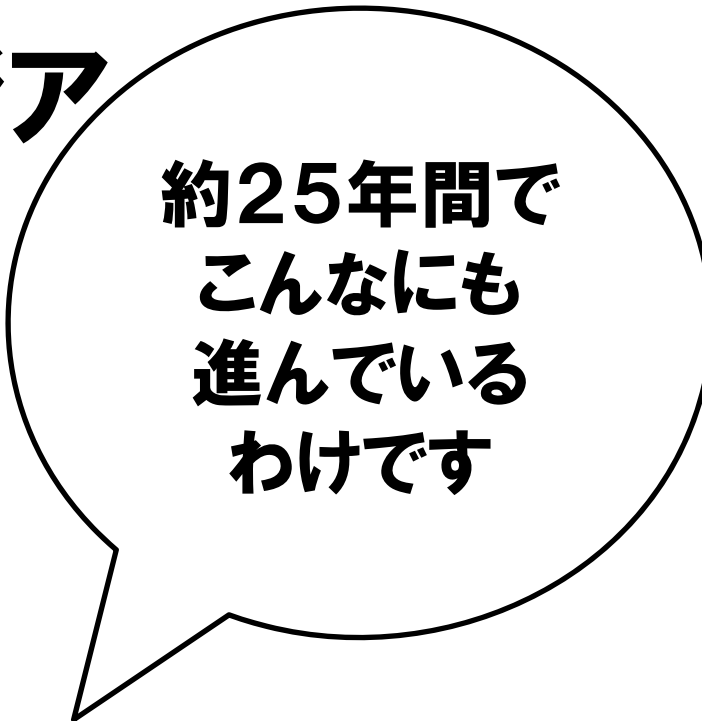
- 人口推移は・・・急速！
出生率をみてみると・・・

1960年代末 約6.0



1990年代初頭 約2.1に！

ちなみに現在は約1.7です。



約25年間で
こんなにも
進んでいる
わけです

国ごとに見てみると・・・

シンガポール 1.4

韓国 1.2

香港 0.9

文献でとりあげられていた”Tigers”とは
台湾 韓国 香港 シンガポールをさすそうです。

昔は・・・

経済的従属人口指数(成人人口に対する年少人口および老年人口の割合)の低さ

労働人口の多さ

が経済の爆発的成長を支えていました！

しかし！

171ページのグラフを見てみて下さい

Youth dependency ratio(労働人口の割合)

は下がる一方

Old dependency ratio(老年人口の割合)

は上がっているのです！

では中国についてみてみましょう

中国政府は“balanced developing”
(バランスのとれた成長)というスローガンを
うちたてました

でもこれは

都市と田舎の収入格差の危険性

社会の安全網がずたずたになる

環境低下

を危惧しているのです！

文献には**中国の歴史**や**労働人口の推移**など書かれていましたが、みなさんよまれていると思うのでこれくらいにして次は**インド・南アジア**について説明していこうとおもいます！



インド・南アジア

174ページのグラフを見てみると・・・

出生率は安定して高い

平均寿命は徐々にあがっている

171ページのグラフと見比べてみると

Youth dependency ratio(労働人口)は
半分以上

Old dependency ratio(老年人口)は
約2割ぐらいです

インドについてみていきましょう

多くの障害が！

教育の質の低下

ヒन्दゥーとムスリムの対立・・・

とたくさんの問題を抱えているのです！

インドと中国の違い！

人口の多いことで有名な**インド**と**中国**

経済発展し続けながら

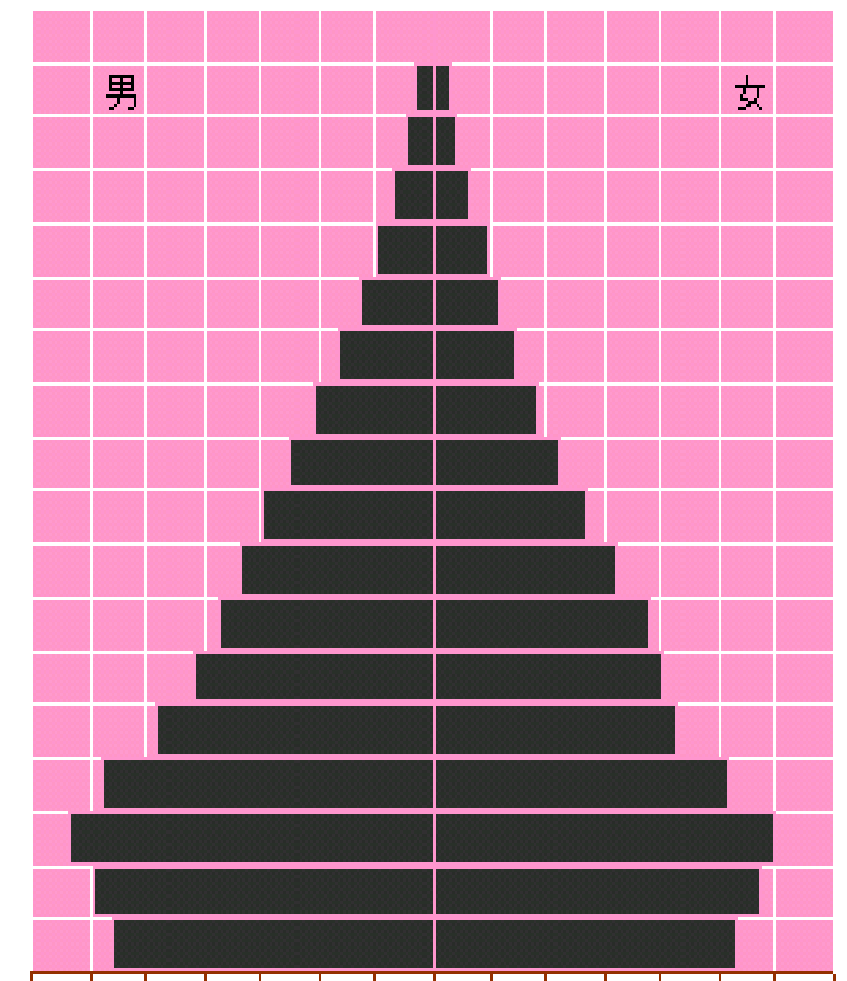
急速に高齢化していく**中国**

宗教問題だったり教育問題だったりと人口問題をとりあげるにはまだまだ早い(?)**インド**

この二つの国にはどんな違いがあるのでしょうか！

インドの人口ピラミッド(2001年推計)

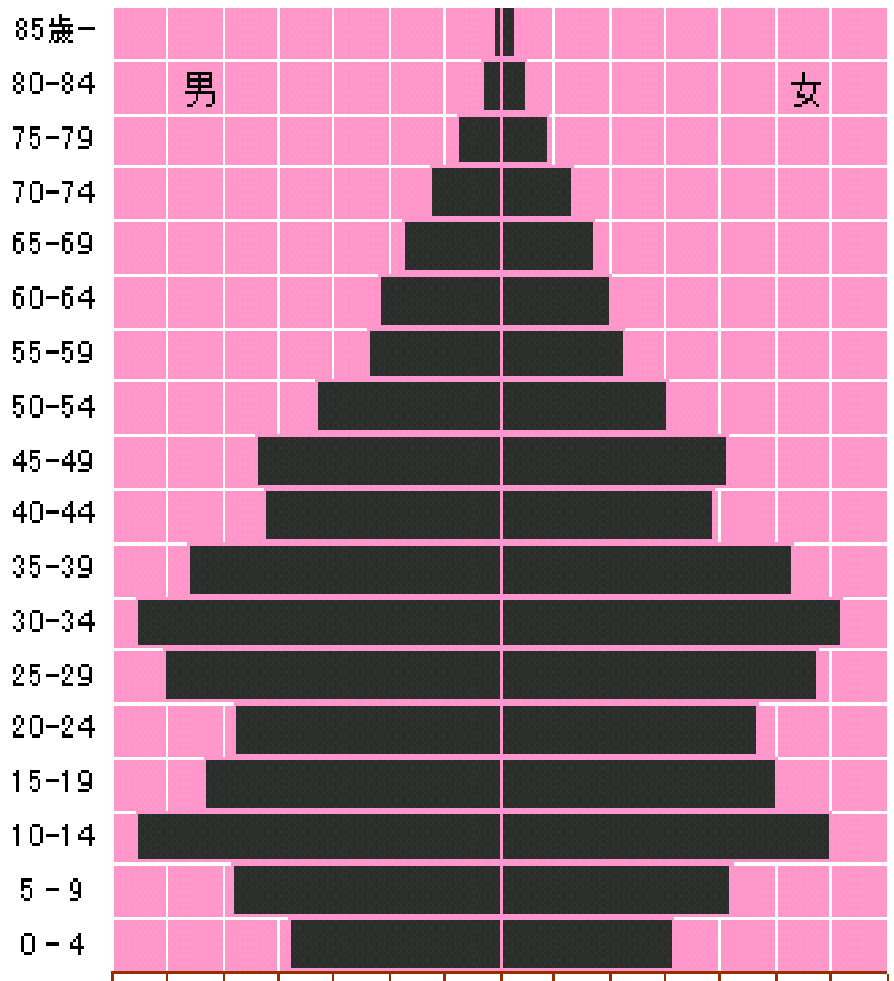
総人口:101,754万人 65歳以上人口比率:4.6%



70 60 50 40 30 20 10 0 10 20 30 40 50 60 70
百万人

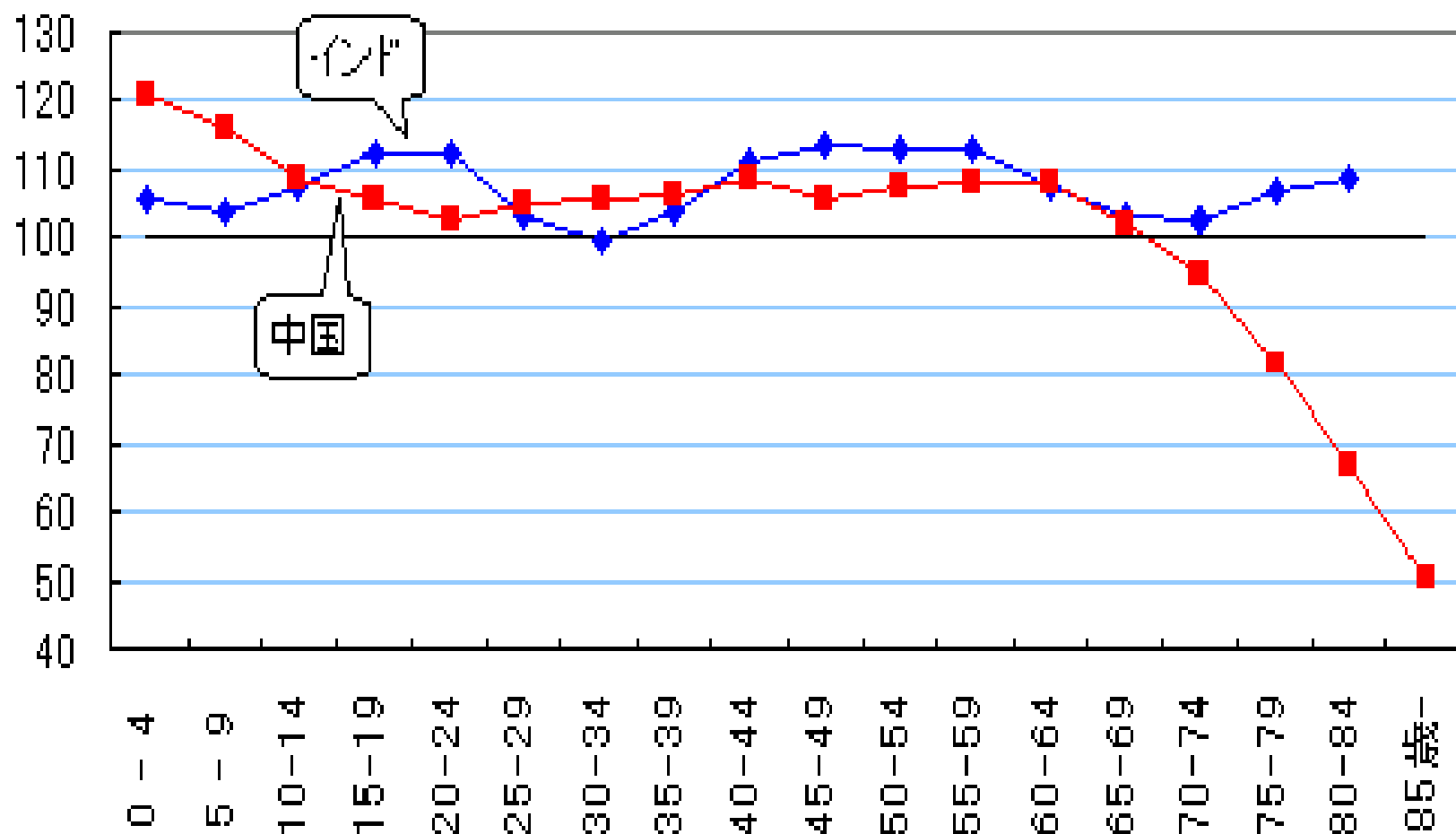
(参考)中国(2000年センサス)

総人口:124,261万人 65歳以上人口比率:7.1%



70 60 50 40 30 20 10 0 10 20 30 40 50 60 70
百万人

(参考) 性比 (= 男性 / 女性 × 100)



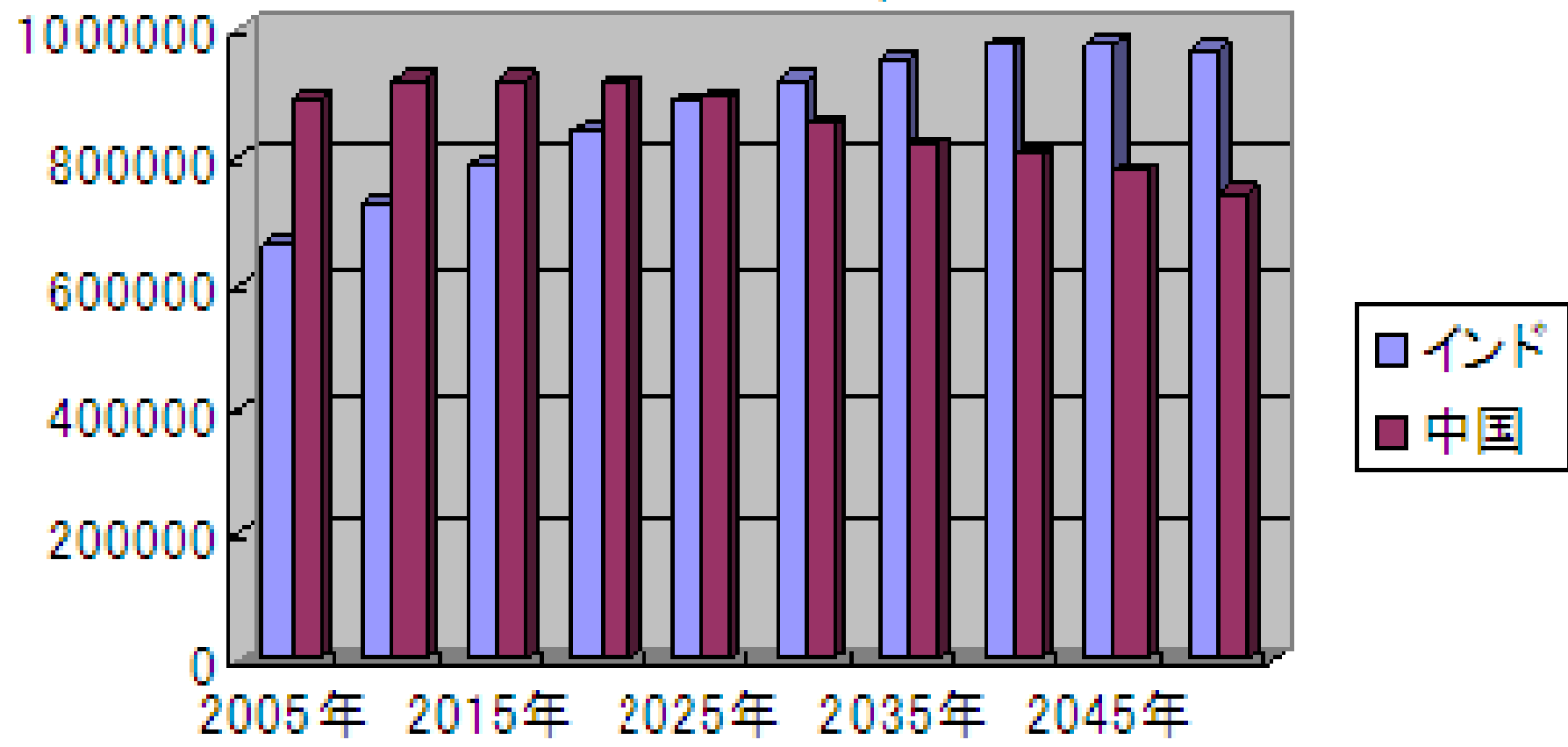
(注) インドの80-84歳は80歳以上

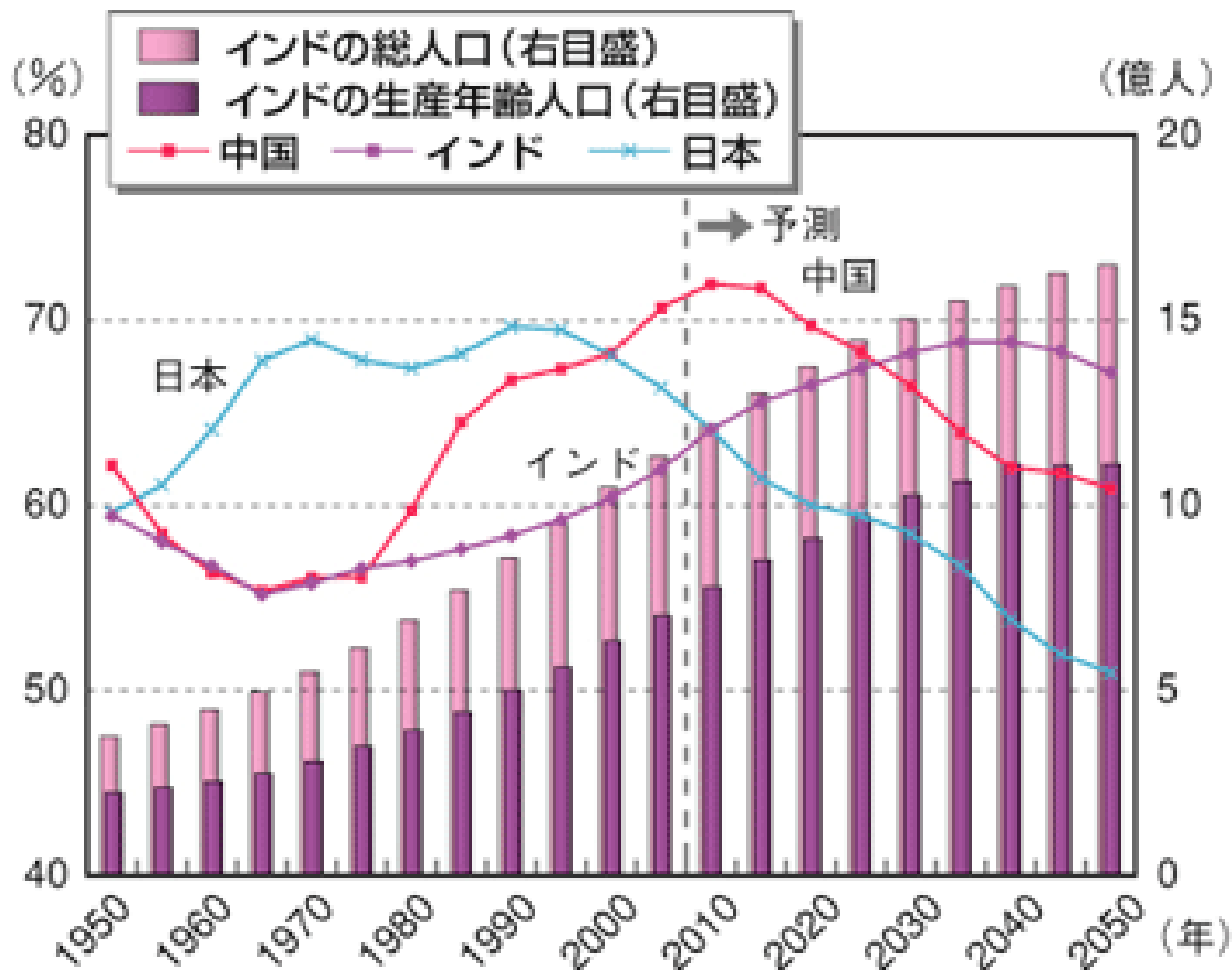
(資料) 総務省統計局「世界の統計2005」

インドと中国の労働力人口推移予測の比較

インド株式会社オンライン

<http://indokeizai.com/>





(備考) 1.中位推計の数字を使用。

2.生産年齢人口は15歳から64歳の人口。

(資料) 国連「World Population Prospect」から作成。

**インドなどの発展途上国は
人口問題というより経済・衛生問題に
重点的でした**

**人口問題に今のうちから手をつけるということは
福祉や経済・宗教問題の
改善につながるのではないかと
思いました**

日本を例に出していうと

人口高齢化対策を根本におけば

☆ **労働市場の面**

女性が働く環境を整えることができる

☆ **経済の面**

総合的な問題を含んでいるので適切なお金の
使い道を考えることができる

☆ **教育の面**

移民を受け入れる等の政策を打ち立てた場合、
もっと国際的な授業のプログラムを組んだり英
語の授業などの向上につながる

☆福祉の面

年金対策や社会保障、年々増えていく高齢者のための介護・・・などの対策を考えることができる

このように国全体のことについて考えることができるわけです！

人口問題についてあまりとりあげていないインドなどの発展途上国も人口問題を基軸に考えればいいのではないかと思いました

• 例えばインドに関していうと

☆ **宗教問題**

これから先も続いていくと思うが、解決しようとするれば宗教問題で働けないとか国に居れないなどの問題が減り、労働人口を増やせるかも！

☆ **衛生問題**

衛生面が整えば死亡率も減り、子供はすくすく成長することができる

☆ **教育問題**

教育の質が向上すれば労働力もあがるだろうし、仕事をする幅が増える

**世界で進む人口高齢化ですが
みなさんのコメントにもあったように
まだ高齢化が進んでいない国でも
今のうちから対策を続けていかないと
将来、事態は深刻にするのではないかとおもい
ました**

Latin America

The Russian Sphere

Eastern Europe

2012年5月22日

中嶋ゼミ

英米学科 東花帆

Latin America

Latin America --- fertility



出生率: 2.5



Latin America --- future

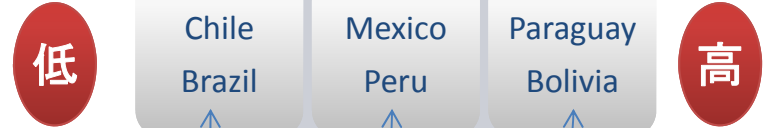
In the near term

· **Youth-Bulge Share** ... 平均26.6%(2005)

* **30%** over in poor and unstable country

* echo booms ... Peru and Venezuela

* now **declining** rapidly elsewhere



In the longer term

· elderly share ... 6%(2005) → 11%(2030) → 16%(2050)

Latin America --- economy

“Economies are growing so **slowly**—”

「格差」

- two-tiered labor markets

特権・厚い保護をもった分野.....

European-origin

人数が多く、賃金が安い分野.....

indigenous or
Mixed-race populations

- ジニ係数 (Gini coefficients)

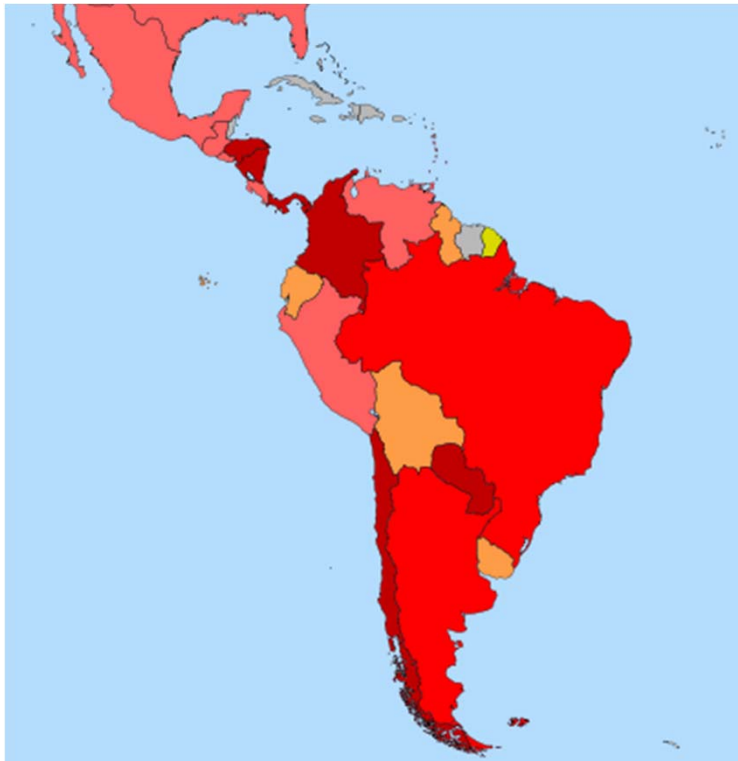
社会集団における所得の格差など不平等を表す指数。

{ 0 ... 完全平等

{ 1 ... ひとりですべての所得を独占している状態。

Latin America --- economy

・ジニ係数



Color	Gini coefficient
■	< 0,25
■	0,25 - 0,29
■	0,30 - 0,34
■	0,35 - 0,39
■	0,40 - 0,44
■	0,45 - 0,49
■	0,50 - 0,54
■	0,55 - 0,59
■	> 0,60
■	NA

The Russian Sphere

The Russian Sphere --- fertility

Fertility fell much **earlier!**



- 1955年 ... 人口妊娠中絶が合法化
- 1970s ... 子供を制限する政策
- ↓
- 1980s ... 出産推奨政策
- ↓
- 1990s ... ソ連崩壊・混乱

出生率: 1.3

(Beneath 人口置換水準)

The Russian Sphere --- mortality

Life expectancy for Russian **men** fell well —

Life expectancy = 59歳

(日本 / 81歳)



Reasons

- ・ アルコール
- ・ 暴力犯罪の増加・高い自殺率

The Russian Sphere --- future

出生率減少 & 高い死亡率...



高齢化がはやく進む


- ◎ elderly share
14% (2005) → 26.9% (2050)
- ◎ median age
37歳 (2005) → 49歳 (2050)



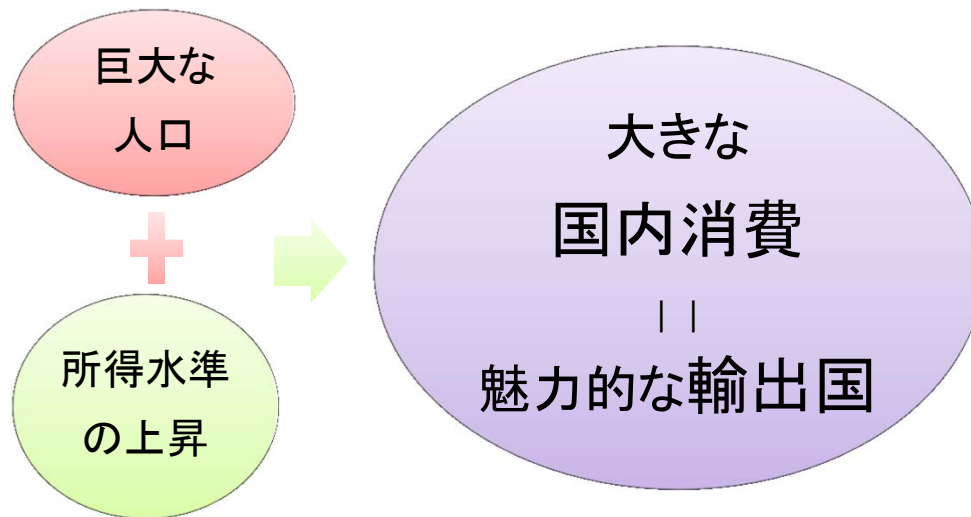
総人口も減る

- ◎ total population
144 million(2005) → 99 million(2050)

The Russian Sphere --- economy

豊富な天然資源...  but ... 個人所得は先進国の3分の1

BRICs



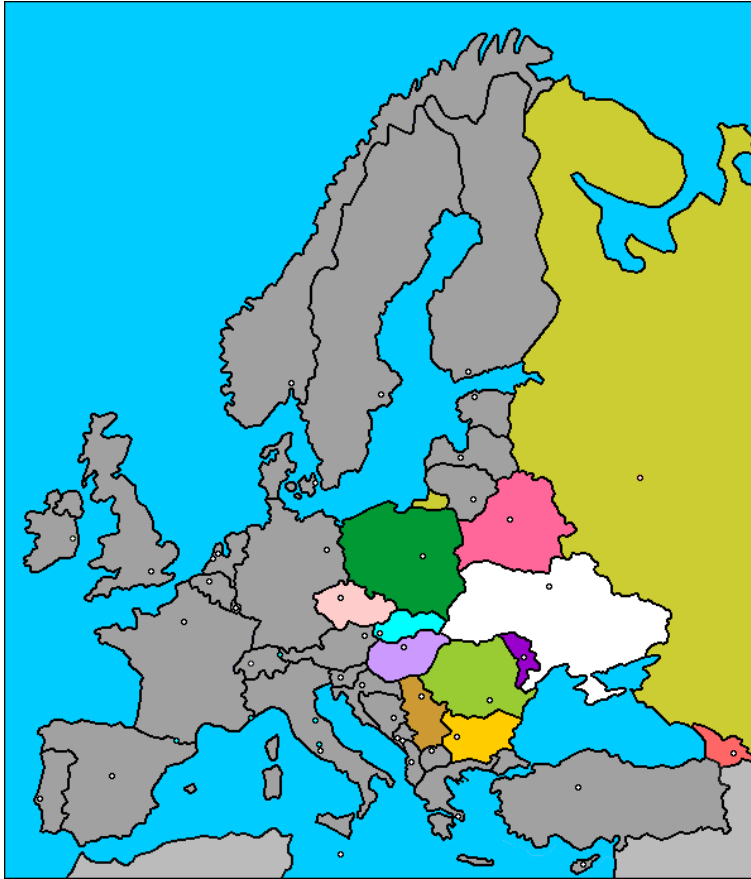
Low Life expectancy

Low saving

Low investment

Eastern Europe

Eastern Europe --- fertility



出生率: 1.2-1.4

{ Balcan : 1.5-1.8
Muslim Albania: 2.3

Eastern Europe --- future

© elderly share

14% (2005)  30% (2050)

© working-age population

western Europe lose 18 %



Eastern Europe lose 32%

© total population

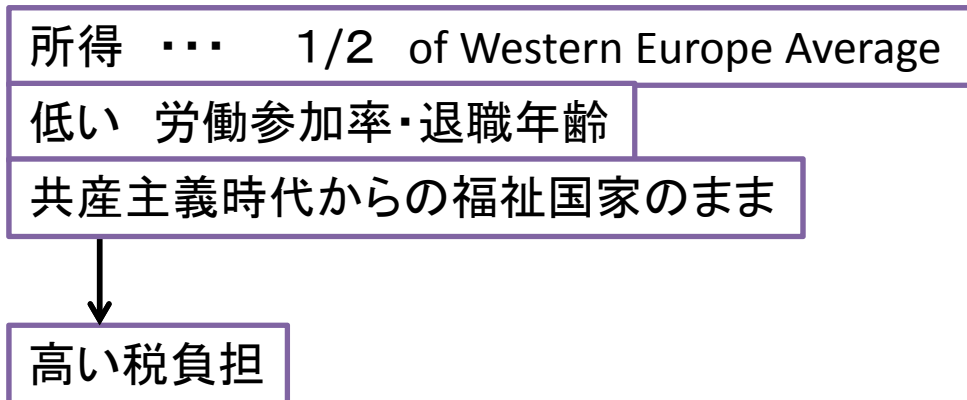
western Europe lose 4 %



Eastern Europe lose 22%

Eastern Europe --- economy

Incomes have grown rapidly but living standards are not developed—



A TOUR OF DEVELOPING WORLD

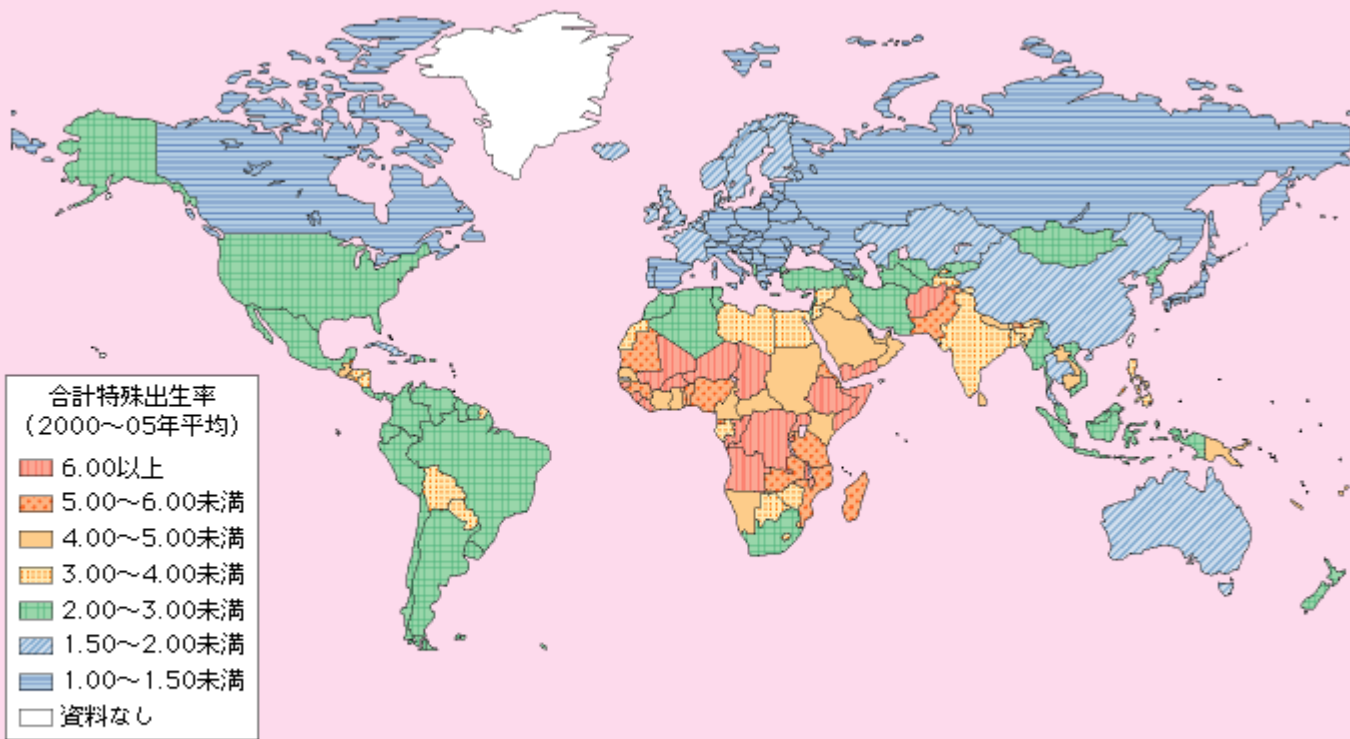
神戸市外国語大学 中嶋ゼミ

村上有紀

2012/05/22

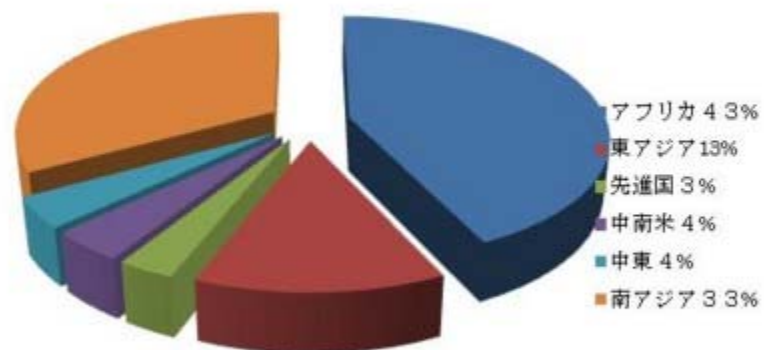
Sub-Saharan Africa

- The highest fertility rate
- The youngest , fastest-growing population
- The poorest, least development
- The lowest life expectancy
- The world's worst AIDS epidemics



資料： United Nations, "World Population Prospects 2002 Revision"

乳児死亡率



Sub-Saharan Africa

出生数

**0-5歳までの
幼児死亡数**

1995-2000

130,448人

22,033人

2000-2005

143,071人

21,484人

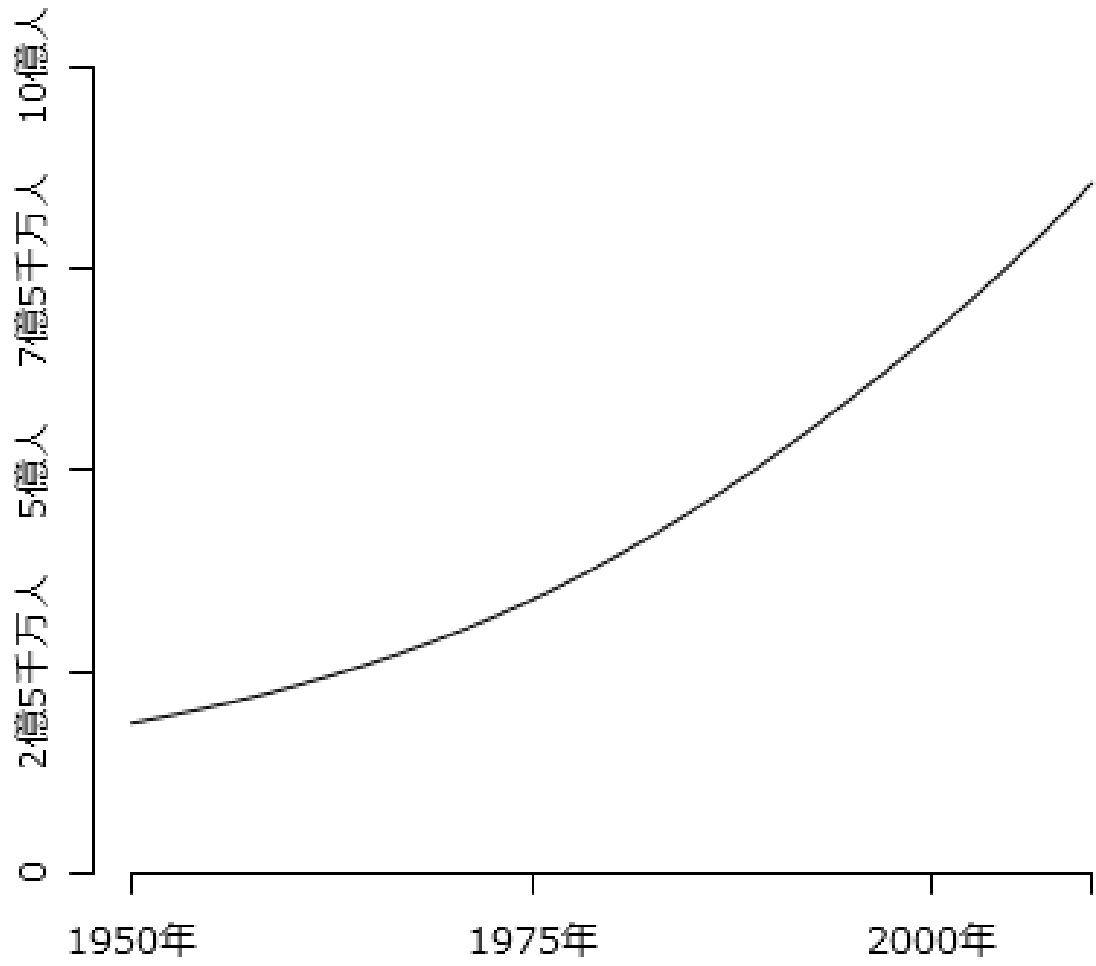
2005-2010

154,351人

20,792人

(World Population Prospects, the 2010 Revisionより作成)

サブサハラアフリカの人口推移



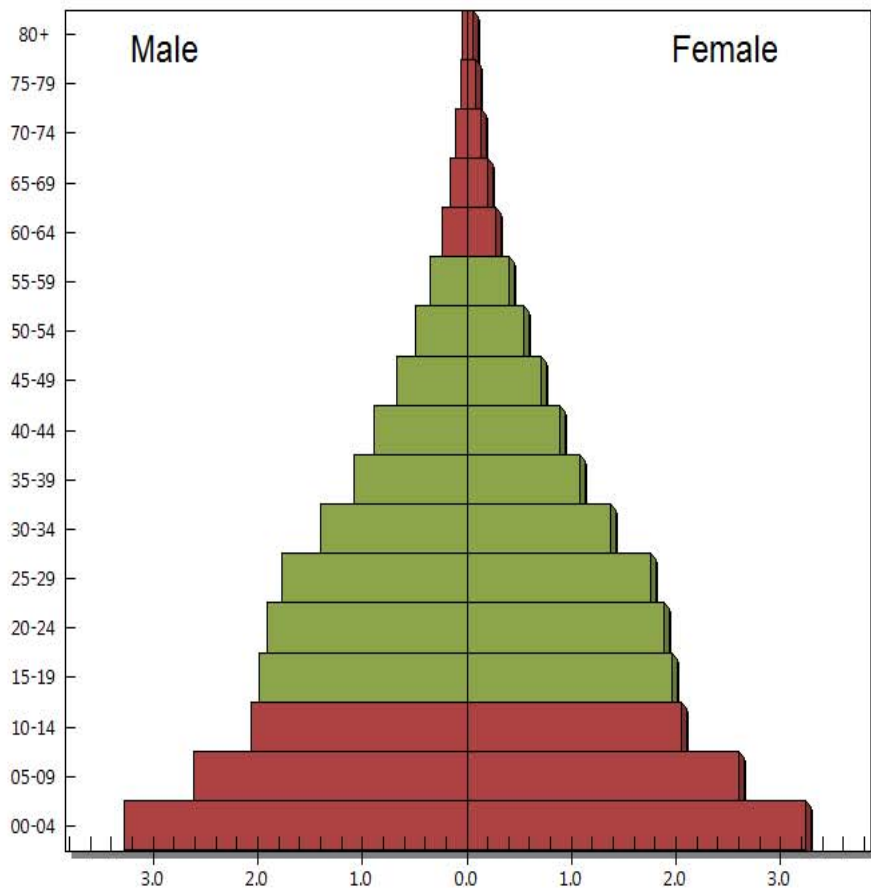
Since 1950
→ 4倍

By 2050
→ 3倍

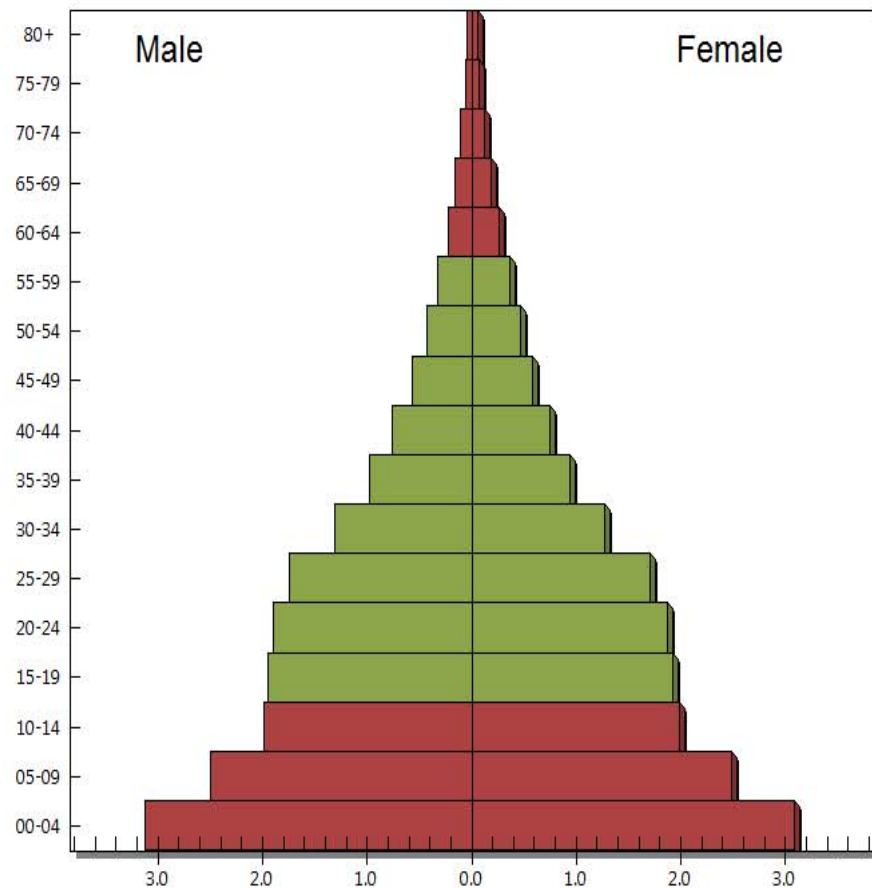
出所) UN - World Population Prospects

All Age Groups (Millions)

2008
Kenya Without AIDS



2008
Kenya With AIDS



Configure

Total - Male+Female

Prev Year

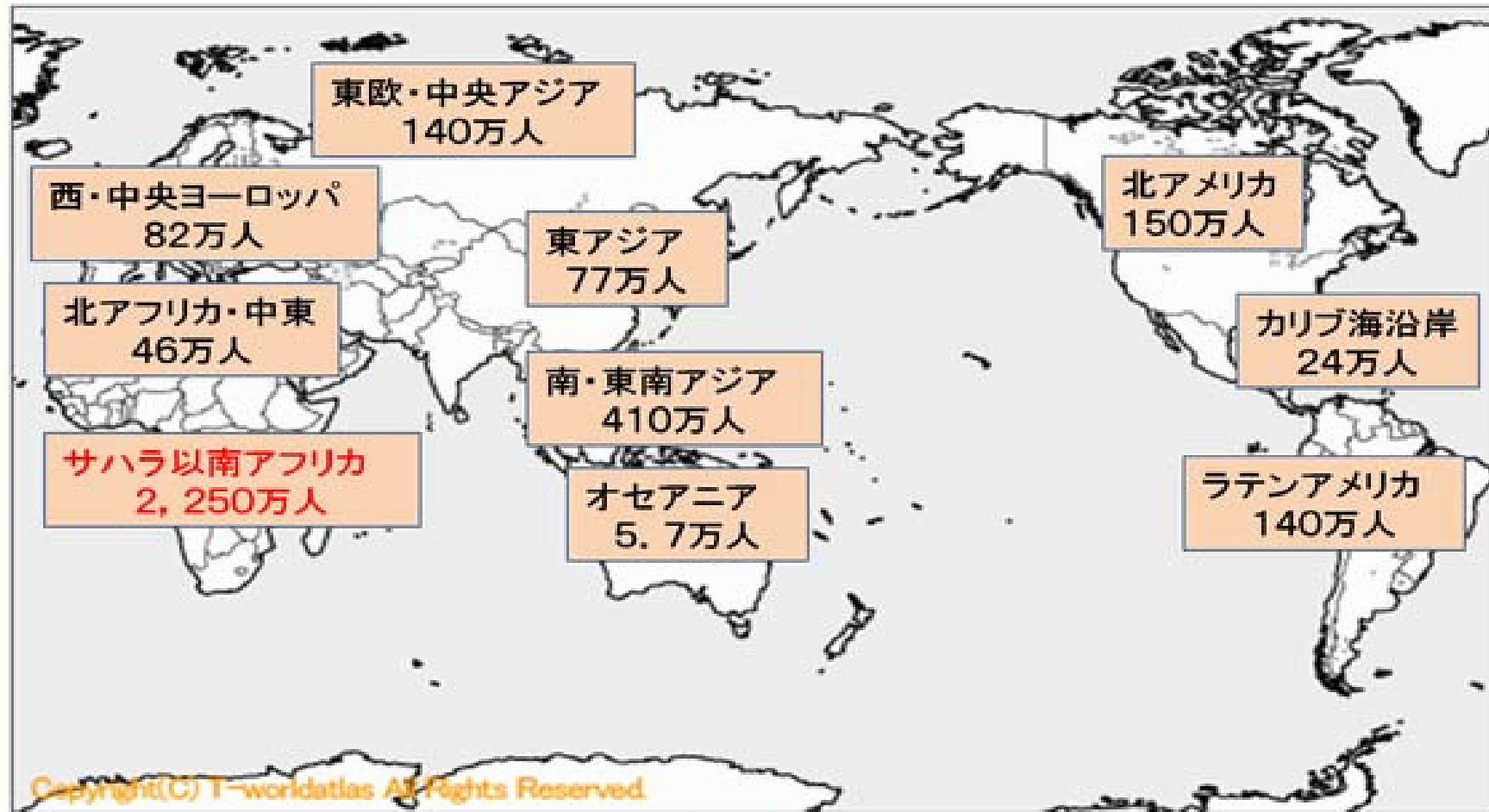
Next Year

First Year

Last Year

若年層 36% → 先進国の2倍以上

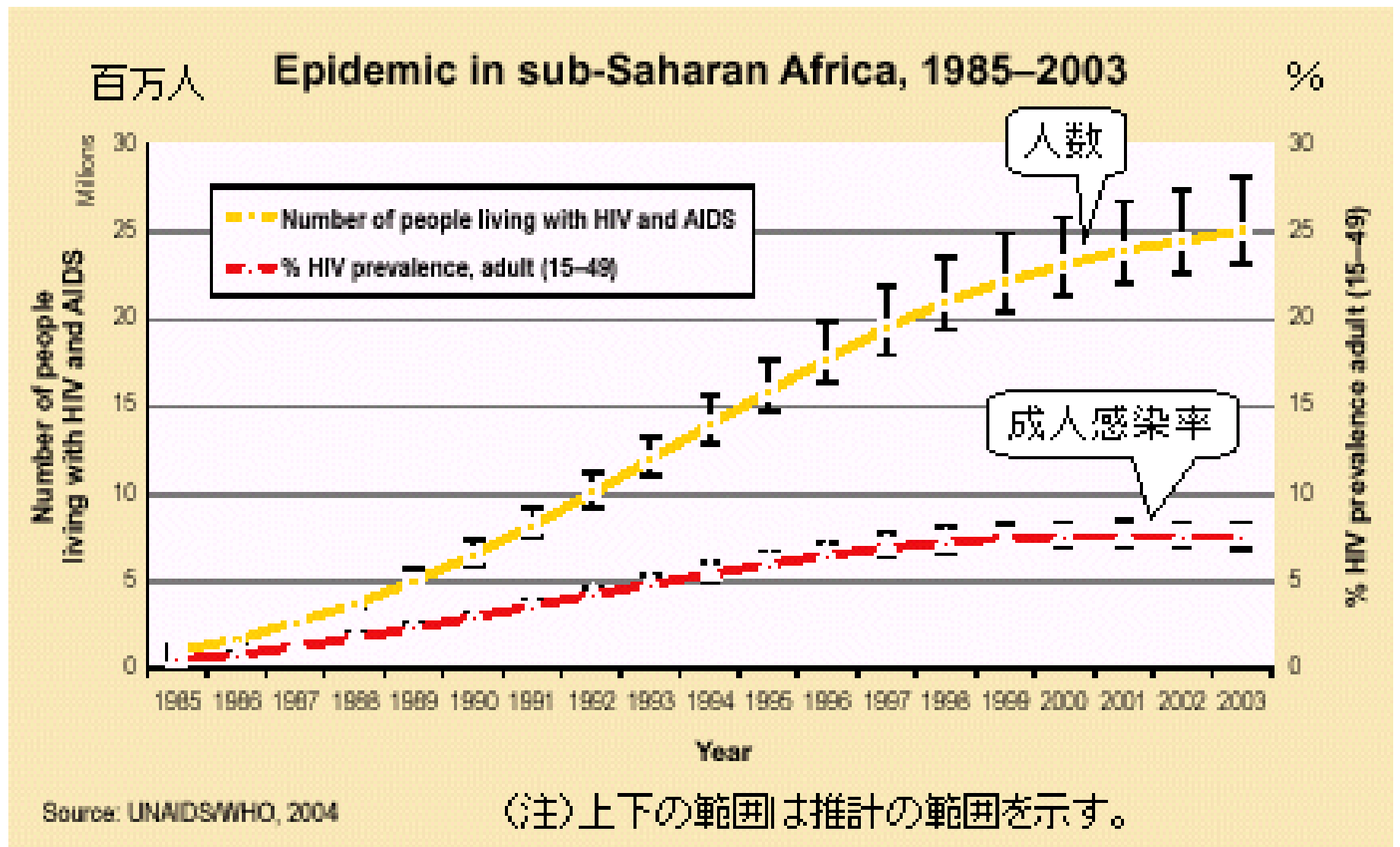
HIV感染者(成人・子供)推計総数 2009年現在 国連合同エイズ計画(UNAIDS)発表資料



HIV感染者(成人・子供)推計合計 3,330万人

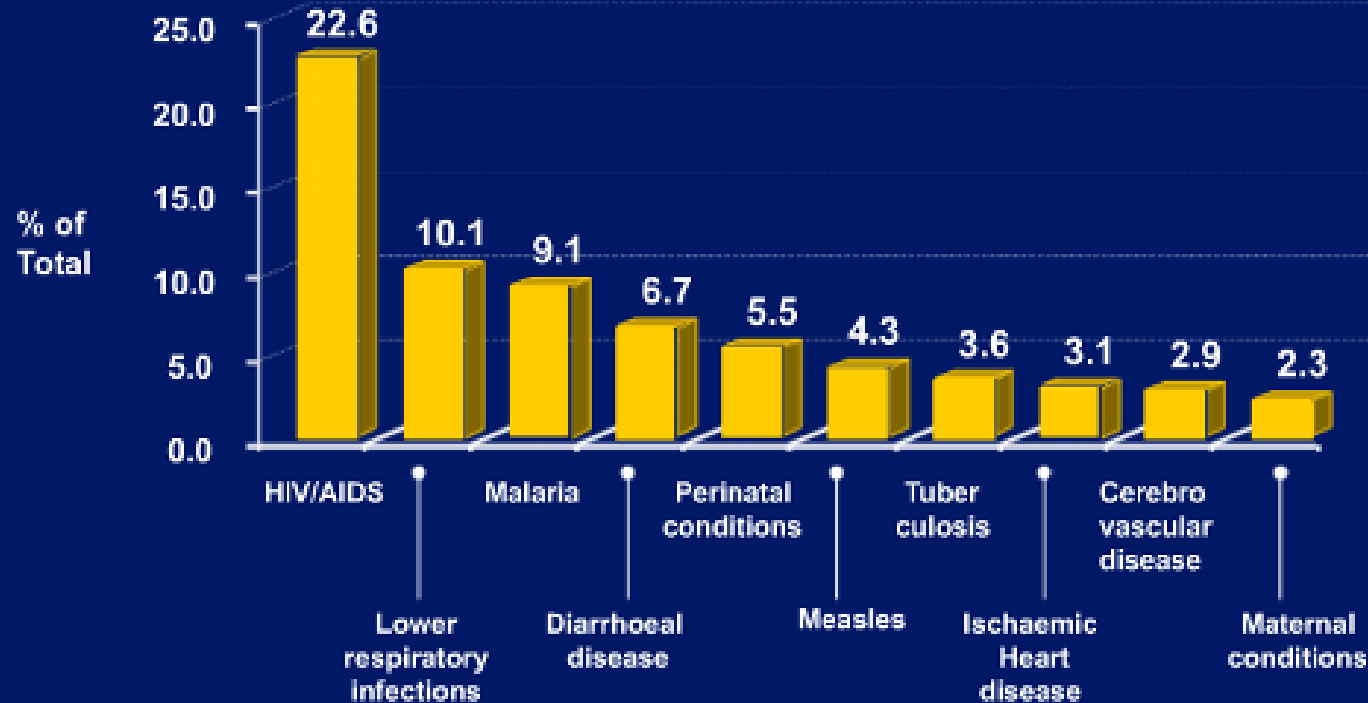
Sub-Saharan Africa → 世界のHIV感染者の68%を占める

サハラ以南アフリカのHIV/エイズ人数・成人感染率の推移



(資料) US AIDS, 2004 Report on global AIDS epidemic (4th global report)

Leading causes of death in Africa, 2000



Source: *The World Health Report 2001*, WHO

01 July 2002 slide number SSA-06



UNAIDS
The Joint United Nations Programme
on HIV/AIDS

AIDSによる死因が第一位

Arab World

- Low median ages
- Large youth-bulge shares
- Progressing
- Demographic transition

Fertility

■パレスチナ自治区、イエメン

ソマリア、スーダン、イラク ...**4.0~6.5**

■エジプト、シリア、サウジアラビア ...**3.0~4.0**

■アルジェリア、チュニジア、モロッコ

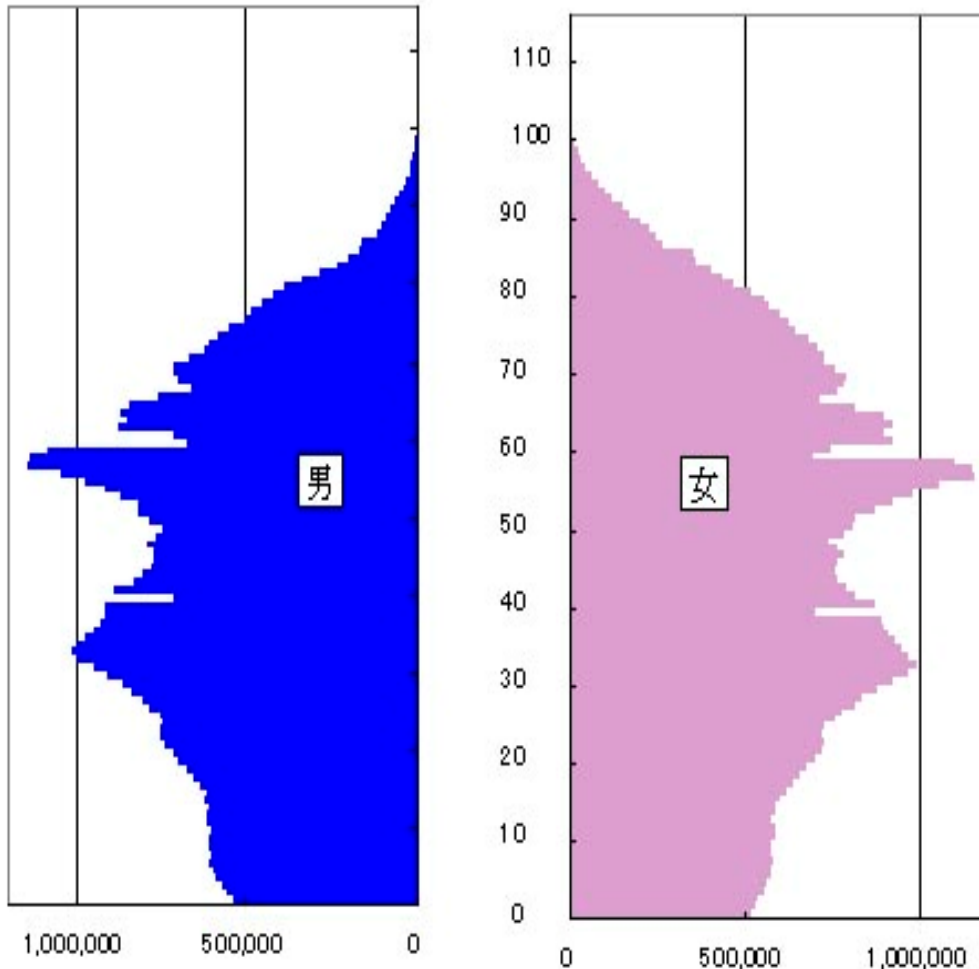
リビア、レバノン ...**2.0~3.0**

Life expectancy

Early 1950s → 42歳

Now → 67歳

Echo boom



第二次ベビーブーム

・・Baby boomer の子供の世代

■エジプト、シリア、サウジアラビア
アルジェリア、チュニジア、モロッコ
リビア、レバノン

1970- 80s baby boom

→2010- 20s echo boom

2005- 2050

・ Median age ・・22→31歳

・ Youth bulge share

・・32→21%

“middle aging of the
Middle East”

2050年までに人口は2～3倍

■資源の枯渇

・・イエメン 深刻な水不足

■非雇用率の上昇


・・ヨルダン 20%
チュニジア 31%
パレスチナ自治区 39%
アルジェリア 43%
(15～24歳 男性)

■結婚年齢の上昇


Non-Arab Muslim Asia

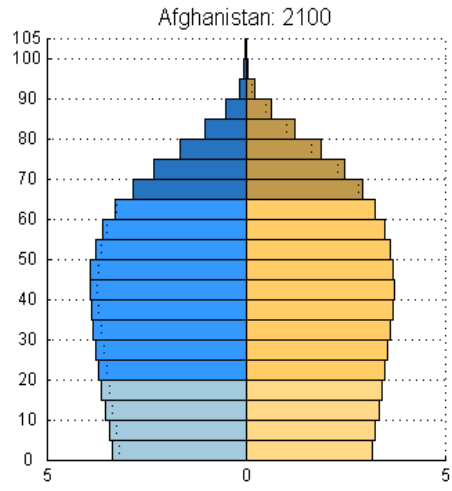
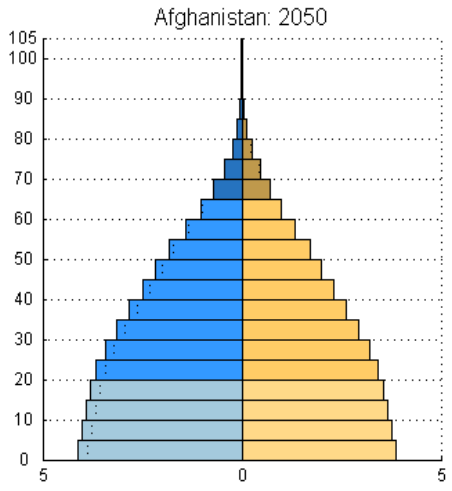
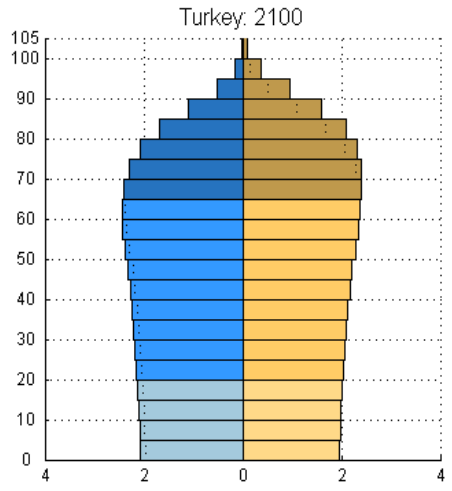
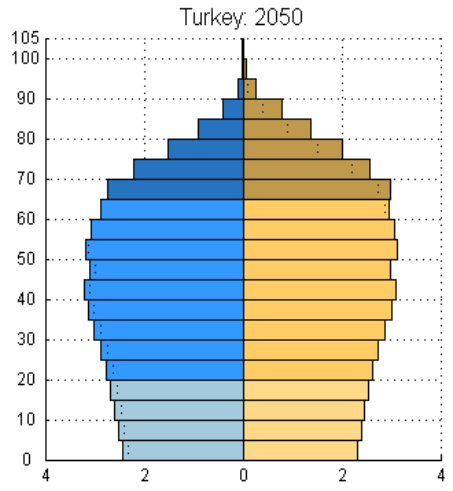
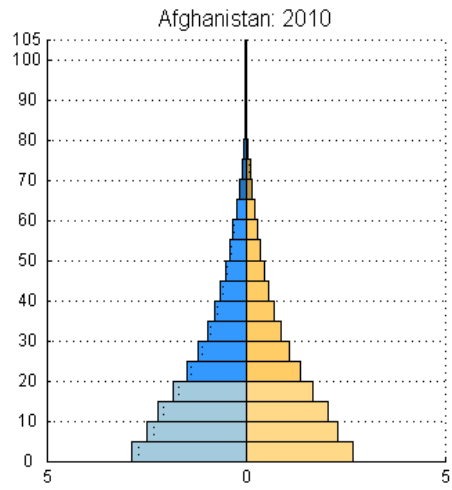
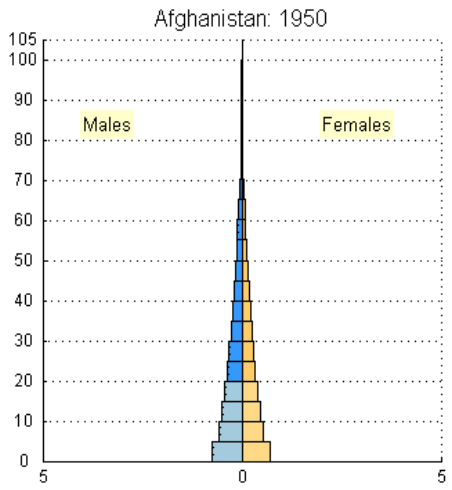
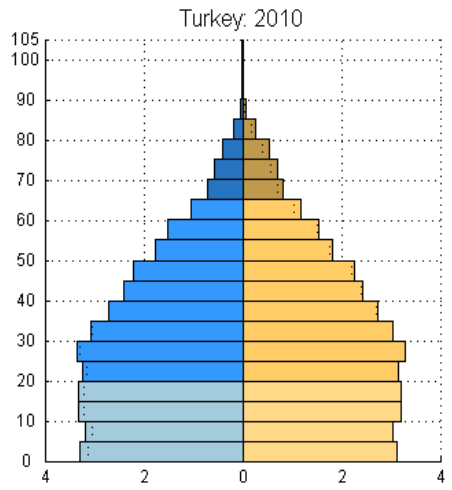
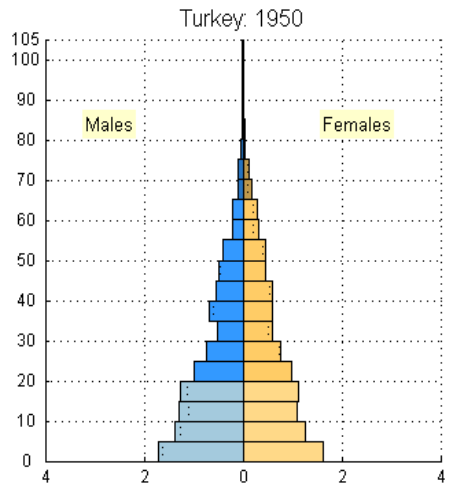
出生率

- パキスタン、バングラデシュ・・・4.0～3.2
- アフガニスタン・・・7.5
- マレーシア・・・2.7

 人口増

- トルコ・・・人口置換水準
- インドネシア・・・人口置換水準

 人口増、2050年をピークに減少



(millions)

(millions)